



2022 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名	人・夢・技術グループ株式会社
代表者名	代表取締役社長 永 治 泰 司
	コード番号 9248 東証プライム市場
問 合 せ 先	常 務 取 締 役 塩 釜 浩 之
	経 営 企 画 担 当
	(0 3 - 3 6 3 9 - 3 3 1 7)

株式会社ピーシーレールウェイコンサルタントとの資本業務提携に係る基本合意のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株式会社ピーシーレールウェイコンサルタント(本社:栃木県宇都宮市、代表取締役社長:荘司 和彦) (以下、「ピーシーレールウェイコンサルタント」といいます。)との資本業務提携に向けた協議を開始することについて決定し、同社と資本業務提携の基本合意をいたしましたので、お知らせいたします。

1. 背景及び目的

当社は、2021 年 10 月 1 日より持株会社体制に移行いたしました。持株会社の設立主体となった株式会社社長大は、1968 年に本州四国連絡橋の架橋を夢見た技術者たちが創業し、世界最高峰の橋梁設計技術を強みとする総合建設コンサルタントです。現在では、幅広い社会基盤の課題解決に対応できる総合建設コンサルタントグループを目指し、2030 年をマイルストーンとした「長期経営ビジョン 2030」を策定、具体的な行動目標を取り纏め、実行に着手しています。2021 年 10 月からは、人・夢・技術のキーワードの下、グループ従業員 1 人ひとりのエンゲージメントを高め、グループ一丸となってより良い社会の構築を目指しております。

近年では、国土強靱化と地域活性化を重要課題に掲げ、これらの課題に真摯に取り組み、地域企業にも積極的に参加していただく PPP/PFI 事業も順調に成長しています。今後も地域の活性化のため、より広範囲に地域企業との連携・協業を積極的に行っていく予定であります。

一方、ピーシーレールウェイコンサルタントは、栃木県に本社を構え創業 30 年超を誇る建設コンサルタントです。ゼネコンやメーカー出身の幹部技術者を多く抱え、調査・計画にとどまらず、詳細設計を強みとしています。国内では道路橋や鉄道橋を中心に、グローバル市場でも鉄道橋などの設計に従事した実績を有するなど、実務に長けた希少価値の高い中堅規模の建設コンサルタントです。

これまで、PC 構造物の設計を強みとしながら、鋼構造物のほか、道路、河川、上下水道、そして鉄道分野と多岐にわたる事業を展開してきましたが、近年では、海外展開を視野に、インフラ需要旺盛なアジア圏の留学生を積極的に採用し、グローバルな舞台で活躍できる人材を育成しています。現在も確固たる教

育・指導体制を持ち、若手技術者を育てながら、成長を続けており、今後も高い成長が期待される建設コンサルタントです。

以上の背景から、双方の人材、技術、顧客基盤等の様々な経営資源を相互に活用し、事業領域及び顧客基盤の拡大、生産性の向上等の分野で互いの課題に取り組み、事業を成長させていく認識で一致し、今回の基本合意に至りました。尚、当社とピーシーレールウェイコンサルタントは従来から取引関係を有しており、これまでの取引関係において双方が互いのビジネスを理解し、尊重に基づいた信頼関係を築いております。

2. 資本業務提携の内容

資本業務提携に際し、当社はピーシーレールウェイコンサルタントが発行する株式の過半数を取得し、同社が当社グループに加わることでシナジーの創出を最大限図ってまいります。具体的な株式取得数、株式の取得方法、資本提携後の経営体制等は、現段階で未定であり、決定次第改めて公表させていただきます。

3. 資本業務提携の対象先概要

商号	株式会社ピーシーレールウェイコンサルタント
本社	栃木県宇都宮市元今泉3丁目18番13号
設立	1989年6月28日
代表取締役	荘司 和彦
資本金	3,000万円

4. 本件資本業務提携に関する日程

本件資本業務提携にかかる日程に関しては、下記の予定を目途に協議いたしますが、手続きの進行やその他の事由により、変更する可能性があります。

- ・ 2022年4月27日:基本合意書の締結(本日)
- ・ 2022年8月下旬:本件資本業務提携にかかる最終契約の締結(予定)
- ・ 2022年9月末日:本件資本業務提携の効力発生(予定)

5. 今後の見通し

本資本業務提携が、当社の2022年9月期の連結業績に与える影響につきましては、現時点では未定ですが、業績に重要な影響を及ぼすことが明らかとなった場合には、速やかに公表いたします。

以上